

議会から 市民にちは

2026
2.1
令和8年

令和7年12月5日の市議会定例会開会前に、天明釜を使用した茶会を議場において開催しました。
茶会は、佐野市茶華道協会茶道部の皆様にご協力いただき、茶道具やマナーの説明を受けながら、振る舞われたお茶を堪能しました。

令和7年12月定例会

■一般質問に18人が登壇

さの
市議会だよりの
www.city.sano.lg.jp/gikai/

佐野市議会

検索



▼佐野市議会の様子をライブ中継と録画により映像配信しています。

佐野市議会スタート中継

検索





澤田 ひろき

裕之 議員
(創政クラブ)



持続可能な消防体制について

Q 消防本部では、整備が困難な高機能な消防指令システムを共同で導入、活用できるため、指令業務の迅速化、的確化が図れる。また、指令システムの整備費用や維持管理費用を共同で負担するため、各消防本部が単独で整備、運用する場合に比べて大幅な経費削減が可能である。足利市との共同消防指令センターの今後の取り組みについて伺いたい。

A 消防長

今後の取り組みについては、主要機器の設置が完了次第、両市の指令員に対する機器の取扱いの研修を行います。その後、令和8年3月17日に両市の119番回線を共同消防指令センターへ切り替え、仮運用を行いながら最終調整を実施し、4月1日から正式に運用を開始する予定です。

その他の質問



栗崎 たくじ

卓二 議員
(創政クラブ)



移住・定住の取り組みについて

Q 地域働き方・職場改革等の推進について、若者や女性我希望するキャリアを実現できる職場づくりの取り組みを市内外に発信することで、転入の促進と転出の抑制を目指すところだが、現時点において考えている取り組みについて伺いたい。

A 総合政策部長

若者や女性、自身の能力が活かされ、成長していくことができ、希望するキャリアを実現できると感じられる職場や、将来において結婚・出産等のライフイベントの際にも、共働き・共育の時代にふさわしく、男女ともに柔軟な働き方ができる職場を増やしていくことで、地域全体で職場の魅力を高めていきたいと考えています。

その他の質問



久保 たかひろ

貴洋 議員
(創政クラブ)



日本列島の中心どまんなか「佐野市」について

Q 佐野市が日本列島の中心であることを、積極的にまちづくりに活かしていくべきだと考えている。当局の見解を伺いたい。

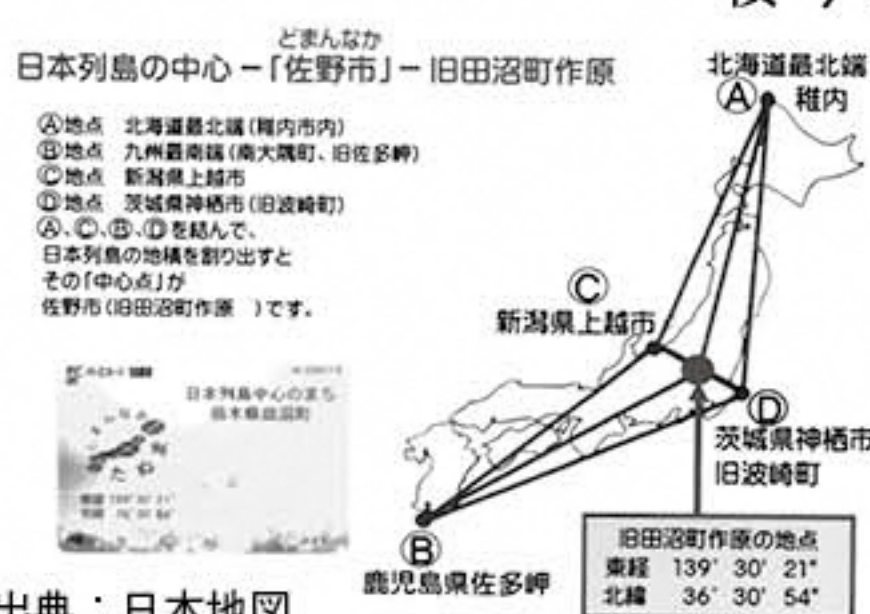
A 市長

本市が日本列島の中心であることに関しては、既に国内有数の集客を誇る「道の駅どまんなかたぬま」の名称として広く親しまれています。また、様々な着眼点による地理的中心地をへそとして地域資源にしている市町村で構成する「全国へそのまち協議会」を通じ、観光交流事業などに取り組んでいるところです。

議員ご指摘のとおり、地理的に日本列島の中心に在し、高速交通網の要衝として観光面のみならず、産業、文化、スポーツ、防災など、あらゆる分野の拠点として、今後も本市の発展のために積極的に活用していきます。

その他の質問

- ☆あそ野学園義務教育学校の開校により閉校となった学校跡地の活用について
- ☆観光スポットの夜間ライトアップ事業について
- ☆佐野市ネーミングライツについて
- ☆観光エリアスポーツ施設の衛生設備等の整備について





鶴見 義明 議員
(日本共産党議員団)



空き家対策について

Q 空家等実態調査について、(株)ゼンリンに1千276万円の費用をかけて調査を委託したが、奈良県生駒市では、休止栓の状態の空き家をまず空き家とみなして調べている。こうした方法で経費を多少は削減できると思うが、見解を伺いたい。

A 都市建設部長

今回の空家等実態調査では、水道の休閉栓データは活用していません。空き家かどうか判断するための一つの有用なデータであると思いますので、今後の活用については研究していきたいと考えています。

その他の質問

☆マイナンバーカードについて
☆生活困窮者対策について



小森 隆一 議員
(公明党議員会)



こども政策について

Q 子ども・若者の居場所づくりの一つに、天候に左右されない安全で自由な遊び場が挙げられるが、本市の見解を伺いたい。

A こども福祉部長

屋内の遊び場については、本市には無料で利用できるこどもの国及び4つの児童館があります。まずは、天候の影響を受けずに安全に楽しんでもらえるように、設備の充実を図りながら適正に施設を運営していきたいと考えています。

また、民間施設の活用を図り、民間事業者とも連携して、新たな屋内の遊び場の設置を検討していきたいと考えています。

現在の状況ですが、どのような活用ができるのかということに関して、民間事業者を含めてスケジュールを考えているところです。

その他の質問

☆物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金への対応について
☆認知症等の高齢者における成年後見制度について



長浜 成仁 議員
(佐野市の明日をつくる会)



学校給食について

Q 給食無償化に対する本市の考えを伺いたい。

A 教育部長

学校給食の無償化は、子育て支援、公平な教育機会及び就学負担の軽減など、大きな意義があると考えています。

国が示す学校給食の無償化は、国の責任において確実に実施できる仕組みとされるべきと考えています。

その他の質問

☆自衛官募集について
☆第2次佐野市総合計画後期基本計画について
☆防災力の強化について





おぐら けんいち
小倉 健一 議員
(政友みらい)



創業融資への利子補給制度創設について

Q 本市の未来や挑戦する事業者の夢への投資として、創業融資への利子補給の制度創設が必要であり、求められているが、見解を伺いたい。

A 産業文化スポーツ部長

本市としては、地域経済の活性化や雇用の促進を図るため、創業しやすい環境を醸成する必要があると考えています。

創業に向けた環境整備により、創業者の育成と起業を増やし、施策の推進につなげていくために、費用対効果など検証を含め、創業融資への利子補給の制度創出に向けた具体的な検討を行っていきたいと考えています。

その他の質問

☆民間譲渡後の佐野市民病院について
☆カスタマーハラスメント（カスハラ）について



あきの つねお
慶野 常夫 議員
(政友みらい)



かえで義務教育学校開校に伴い閉校になる吾妻小学校について

Q 現在の義務教育学校は、あそ野学園義務教育学校と葛生義務教育学校の2校が既に開校され、今後の整備計画で令和10年4月開校予定の佐野市立かえで義務教育学校は、西中学校を拠点とし、西中学校、天明小学校の一部、植野小学校の一部、旗川小学校、吾妻小学校の5校を統合する。

避難所や物資の集積地として、地域の安全を支える重要な施設となっている吾妻小学校の閉校後の跡地活用について伺いたい。

A 総合政策部長

庁内で実施しました公共的利活用に関する意向調査の結果をもとに、公共施設としての活用の検討を行いました。施設全体の活用方策がありませんでしたので、「民間等施設としての活用」の方向で検討を進めているところです。

その他の質問

☆クマの出没について
☆佐野市運動公園の施設について



たちかわ しゅんいち
立川 俊一 議員
(佐野市の明日をつくる会)



子育て支援について

Q ママパパ学級について、平日開催のみでは参加が困難な方が一定数いるため、より多くの方が参加できるように、土日にも開催すべきと考えるが、本市の見解を伺いたい。

A こども福祉部長

平日に仕事をされている妊婦や配偶者、パートナーの方も多く、ママパパ学級の土日開催を望む意見があることは、アンケート結果から承知しているところです。

土日の開催については、助産師等の専門職の人員の確保や、妊婦の体調が急変した場合への対応が困難であること等が課題となっていますが、次年度に向けて、参加者のニーズや状況を把握しながら、実施方法を検討していきたいと考えています。

その他の質問

☆公設こどもクラブについて
☆スポーツ基本法改正に関連する環境整備について





横塚 ようこ

剛 議員
(創政クラブ)



本市の防災、防犯について

Q 災害派遣トイレネットワークプロジェクトには参加しないのか伺いたい。

A 市長

災害派遣トイレネットワークプロジェクトは、民間団体が東日本大震災の教訓を踏まえ、災害時にトイレが使えなくなることによる健康被害や生活の質の低下を防ぐことを目的に、平成29年より運用を開始しています。

この民間団体のプロジェクトに参加しますと、本市が被災した場合、本市で所有するトイレトレーラーは1台ですが、他自治体で所有するトイレトレーラーの応援を受けることができ、複数のトイレトレーラーを本市の避難所等へ設置することが可能となります。また、派遣可能な車両の調整、また被災地までの交通情報等も提供されるため、派遣する際の負担軽減が図れるメリットがあると聞いていますので、納車され次第、参加をしていきたいと考えています。

その他の質問

☆本市の高齢者介護について



田邊 たなべ

直美 議員
(創政クラブ)



地域未来投資促進法について

Q 地域未来投資促進法に基づく重点促進区域内で、現在どのような企業立地や開発の動きがあるか、進捗状況を伺いたい。

A 産業文化スポーツ部長

地域未来投資促進法に基づく重点促進区域については、市ホームページやパンフレットの配布などにより周知を図っています。また、栃木県企業立地促進協議会主催の東京・大阪セミナーに参加するなど、首都圏、関西圏の企業に対して、市長を先頭としたトップセールスを実施するとともに、栃木県東京事務所と連携した企業誘致活動を展開しているところです。そうした中、本市の重点促進区域に対して、複数の企業が興味を示しているところで、各企業において実現可能性や事業採算性等を踏まえて、立地に向けた検討がそれぞれ進められているものと考えています。

その他の質問

☆市民の安全確保に向けたクマ出没への対応と人材育成について
☆性差医療・女性のライフステージを踏まえた健康支援について

※地域未来投資促進法とは・・

地域の特性を生かして、高い付加価値を創出し、地域の事業者に対する相当の経済的効果を及ぼす「地域経済牽引事業」を促進することを目的とする法律です。



堀川 ほりかわ

悦郎 議員
(創政クラブ)



持続可能な学校運営について

Q 現行の学習指導要領では、主体的な学びが掲げられ、中央教育審議会では、「子供を主体にした学校」を中心とした考えの中で、学びを委ねる学校づくりが始まっている。そのためには、単元内自由進度学習を全ての学校で進める必要があると考えるが、本市の考えを伺いたい。

A 教育長

単元内自由進度学習の実践により、子供が自分で選択して学習を進めたり、友達と協力して学習したりすることで、課題解決に向けて主体的に取り組む姿が見られるなどの効果が確認できています。

今後は実践の成果と課題をもとに、教科の特性等を踏まえたより効果的な単元内自由進度学習について、各学校の実態に応じた実践ができるよう支援していきたいと考えています。

その他の質問

☆佐野市役所の行政改革・業務改善について





谷 美枝子 議員
(公明党議員会)



屋外プールの屋内化による施設の有効活用と持続可能な運営について

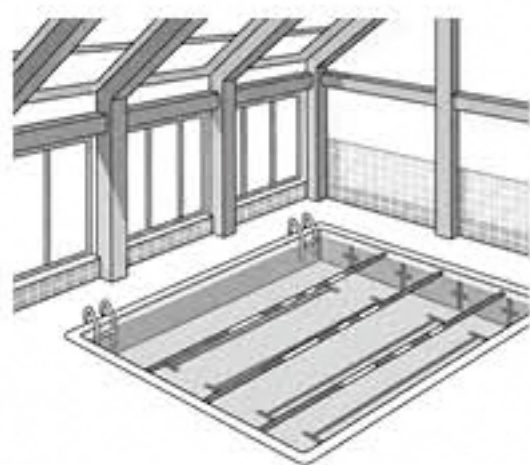
Q 佐野市運動公園プールについて、今後屋内型プールとして更新する考えがあるか、伺いたい。

A 産業文化スポーツ部長

プールの耐用年数については、一般的には30年程度とされていますが、佐野市運動公園のプールは既に40年を超過している状況です。そのため、毎年プール本体、プールサイド、機械設備などに損傷が発生し、改修費用も年々増加する傾向です。また、今年度の営業開始直前には、落雷による機器の故障が発生し、開業が危ぶまれる事態もありました。このようなことから、今年度、群馬県藤岡市の屋内プール「みずとぴあ藤岡」及び宇都宮市の屋内プール「ドリームプールかわち」を見学し、今後のプールの在り方について、調査を始めたところです。

その他の質問

☆令和7年度佐野市行政経営方針について



早川 貴光 議員
(未来の佐野を明るくする会)



保育園の入園及びその業務について

Q 本市におけるマイナポータルの子育てワンストップサービスによる教育・保育給付認定申請及び保育園等利用申込みのオンライン申請数を伺いたい。

A こども福祉部長

国において平成29年度から運用が開始され、それと同時に本市も運用を開始しました。これまでの本市のオンライン申請数はゼロ件です。利便性に問題があり、サービスを利用するためには、まずマイナンバーカードが必要で、パソコンを利用して申請をする場合は、マイナンバーカードを読み取るためのカードリーダーが必要となり、スマートフォンを利用した申請には、スマートフォンの小さな画面を見ながら入力することや、入力に約1時間程度かかるなどの理由により、利用する方がいなかったものと推測しています。

その他の質問

☆佐野市の広報について



滝田 洋子 議員
(日本共産党議員団)



加齢性難聴者への補聴器購入補助制度について

Q 難聴になると、認知症のリスクが高くなる。家族や仲間との会話を楽しみ、毎日を楽しむ生き生きと過ごすためには、しっかりと聞こえることがとても大切である。補聴器によりめまいや耳鳴りの症状が軽減された方もいた。難聴者は、認知症のリスクの確率が約2倍高いと言われる一方で、補聴器購入費が高額化している。補聴器購入への補助の考えはあるか伺いたい。

A 市長

軽度・中等度の難聴である高齢者への市独自の補聴器購入費用の助成は行っていませんでした。高齢者福祉施策全体を考慮し、市が実施する意義や効果を十分検証する必要があると認識をしていますので、今後も検証を行っていきたいと考えています。

その他の質問

☆教職員の働き方について
☆不登校対応に関する教員
全国調査2025について





いのせ あけみ
猪瀬 朱美 議員
(未来の佐野を明るくする会)



さの健康21プランについて

Q 第2期の目標達成状況と未達成項目を踏まえ、今後に反映すべき課題や改善点について伺いたい。

A 市長

これまで健康寿命の延伸のため、地域、学校、企業などと連携し、様々な取り組みを講じてきましたが、令和6年度に実施した市政に関するアンケートでの「健康づくりに取り組み市民の割合」は、前年度比2.6ポイント減の72.6%であったことから、さらに市民が健康づくりに対する意識を持ち、今度は行動変容につながるよう、今月より「運動習慣応援プロジェクト」を開始したところですので、新たな取り組みも今後始めていきたいと考えています。



その他の質問

☆部活動地域移行について



はぎわら まさお
穂原 政夫 議員
(令和みらい)



病害虫及び高温による稲作への被害について

Q 病害虫(イネカメムシ)被害の今後の対応について伺いたい。

A 市長

令和7年産においては、十分な事前対策を行ったことから、令和6年産に比べて被害を抑えることができました。事前対策を講じることの必要性を再認識し、来年度以降も継続して、農業者及び農業組織に対して、防除の方法に関する情報提供や講習会を実施していきます。また、稲病害虫広域集団防除事業費補助金の拡充、そして、多くの農業者に活用していただくよう事業の周知を幅広く行っていきます。



その他の質問

☆児童・生徒の健全育成について



もてぎ あきひろ
茂木 明男 議員
(創政クラブ)



祖父母手帳について

Q 祖父母手帳は、子育ての分野でいろいろ利用できると思うが、見解を伺いたい。

A こども福祉部長

祖父母手帳は、赤ちゃんのお世話や安全対策など、現在の子育て知識がコンパクトにまとめられているため、家族みんなで子育てをすることは、子供の健やかな成長の喜びを実感できるとともに、さらに祖父母を巻き込んだの孫育ての一助として活用しているものと考えています。

昨今、子育てに不安や悩みを抱える親も少なくないことから、祖父母が子育てを支援することは、子育て世代の親にとっても心強いものであると考えています。今後は、親と祖父母がさらに協力して子育てができる環境につながるよう、祖父母手帳の活用方法について検討していきます。

その他の質問

☆Jリーグ栃木シティについて



令和7年第6回定例会（12月定例会）審議された議案等と結果

第6回定例会（12月定例会）は、12月5日（金）から12月22日（月）までの18日間の日程で行われました。審議された議案等とその結果は、次のとおりです。

議案番号等	件 名【内 容】	議決結果等	
報告第 16号	市長の専決処分事項の報告について【令和6年12月24日に発生した印鑑損傷事故についての損害賠償の額の決定及び和解】	報 告	—
議案第 96号	佐野市部及び行政機関等設置条例の改正について【組織機構の再編を実施するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第 97号	佐野市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の廃止等について【佐野市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する事務等を栃木県市町村総合事務組合において共同処理することに伴う関係する条例の廃止又は改正】	原案可決	賛成全員
議案第 98号	佐野市収入印紙等購買基金条例の改正について【栃木県収入証紙の廃止に伴い、所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第 99号	佐野市立学校設置条例の改正について【佐野市立出流原小学校を佐野市立赤見小学校に統合するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第100号	佐野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例等の改正について【児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴うこども家庭庁関係内閣府令の整備等に関する内閣府令の制定に伴い、所要の規定を整備するための関係する条例の改正】	原案可決	賛成全員
議案第101号	佐野市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の改正について【家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の改正に伴い、所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第102号	佐野市歯及び口腔の健康づくり推進条例の改正について【市民の健康意識の向上を図るため、健康寿命の延伸及びオーラルフレイルの予防の規定を追加し、並びに所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第103号	佐野市みかもグリーンセンター余熱利用施設条例の改正について【余熱施設の開館時間、休館日等を変更するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第104号	佐野市下水道条例の改正について【下水道の使用料及び手数料を改め、並びに所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成多数
議案第105号	佐野市火災予防条例及び佐野市火入れに関する条例の改正について【林野火災予防の実効性を高めるため、及び所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第106号	高規格救急自動車用資器材の取得について【高規格救急自動車用資器材の取得】	原案可決	賛成全員
議案第107号	佐野市火葬場の指定管理者の指定について【佐野市火葬場の指定管理者の指定】	原案可決	賛成全員
議案第108号	佐野市郷土博物館の指定管理者の指定について【佐野市郷土博物館の指定管理者の指定】	原案可決	賛成全員
議案第109号	栃木県市町村総合事務組合同規約の変更について【令和8年4月1日から、本市が共同処理する事務に加入することに伴い、栃木県市町村総合事務組合同規約を変更することについての関係地方公共団体との協議】	原案可決	賛成全員
議案第110号	令和7年度佐野市一般会計補正予算(第9号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ225,467千円を追加、繰越明許費、債務負担行為及び地方債の補正】	原案可決	賛成全員
議案第111号	令和7年度佐野市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ10,004千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第112号	令和7年度佐野市国民健康保険事業特別会計(直営診療施設勘定)補正予算(第1号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ1,312千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第113号	令和7年度佐野市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)補正予算(第3号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ3,529千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第114号	令和7年度佐野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)【歳入歳出予算の総額からそれぞれ6,538千円を減額】	原案可決	賛成全員
議案第115号	令和7年度佐野市水道事業会計補正予算(第1号)【収益的支出の予定額から10,193千円を減額、資本的支出の予定額から3,918千円を減額、職員給与費の予定額から13,791千円を減額】	原案可決	賛成全員

議案番号等	件 名【内 容】	議決結果等	
議案第116号	令和7年度佐野市下水道事業会計補正予算(第1号)【収益的支出の予定額から4,340千円を減額、資本的支出の予定額から792千円を減額、職員給与費から4,472千円を減額】	原案可決	賛成全員
議案第117号	佐野市長等の給与及び旅費に関する条例及び佐野市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の改正について【市長、副市長及び議員の令和7年12月以降に支給する期末手当の支給率を改めるための関係する条例の改正】	原案可決	賛成多数
議案第118号	佐野市職員の給与に関する条例及び佐野市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の改正について【給料表及び期末手当等の支給率を改め、並びに所要の規定を整備するための関係する条例の改正】	原案可決	賛成全員
議案第119号	令和7年度佐野市一般会計補正予算(第10号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ675,735千円を追加、繰越明許費の補正】	原案可決	賛成全員
議案第120号	令和7年度佐野市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ6,069千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第121号	令和7年度佐野市国民健康保険事業特別会計(直営診療施設勘定)補正予算(第2号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ4,643千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第122号	令和7年度佐野市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)補正予算(第4号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ7,439千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第123号	令和7年度佐野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ3,364千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第124号	令和7年度佐野市水道事業会計補正予算(第2号)【収益的支出の予定額に4,846千円を追加、資本的支出の予定額に1,286千円を追加、職員給与費の予定額に6,132千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第125号	令和7年度佐野市下水道事業会計補正予算(第2号)【収益的支出の予定額に4,872千円を追加、資本的支出の予定額に1,516千円を追加、職員給与費の予定額に6,388千円を追加】	原案可決	賛成全員
陳情第5号	地域医療を見据えた佐野医師会病院の存続を求める陳情【詳細は10ページに記載】	採択	賛成全員
陳情第6号	市民や団体との協働によるスポーツツーリズムの推進に関する陳情【詳細は10ページに記載】	不採択	賛成少数
陳情第7号	学校における小動物・鳥の飼育の廃止に関する陳情【詳細は10ページ及び11ページに記載】	不採択	賛成なし

賛否が分かれた議案等

議案等番号	件 名	議決結果	賛成	反対	議員名 〔議席番号順〕																							
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
					堀川悦郎	田邊直美	横塚剛	茂木明男	立川俊一	長浜成仁	谷美枝子	井川克彦	栗崎卓二	澤田裕之	穂原政夫	神宮次秀樹	猪瀬朱美	早川貴光	大山圭司	小倉健一	小森隆一	菅原達	久保貴洋	川嶋嘉一	滝田洋子	鶴見義明	慶野常夫	山菅直己
議案第104号	佐野市下水道条例の改正について	原案可決	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×	×	○	○			
議案第117号	佐野市長等の給与及び旅費に関する条例及び佐野市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の改正について	原案可決	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×	×	○	○			
陳情第 6 号	市民や団体との協働によるスポーツツーリズムの推進に関する陳情	不採択	10	13	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	○	議長	×	○	×	×	×	×	

※○＝賛成 ×＝反対

※菅原達議長は採決に加わりません。

子供たちにとって大切なのは、命を「犠牲にして学ぶこと」ではなく、命を「尊重し、大切に作る姿勢そのもの」を学ぶことではないでしょうか。そのための方法は、必ずしも校内で動物を飼うことだけに限らず、他にも多くの選択肢があると考えます。

現場での課題は次のとおりです。

- ・学期末や長期休暇に十分な世話が難しく、命が絶たれてしまうことがある。
- ・担当教員や児童・生徒の負担が多く、責任の所在が曖昧になる。
- ・環境省の「家庭動物等の飼育及び保管に関する基準」に照らしても、必ずしも適切な管理環境が整っているとは言えない。

こうした状況では、教育の目的に反し、子供たちに「命の軽視」といった誤った価値観を与えてしまうおそれがあります。

つきましては、以下の点をお願いします。

- (1) 市内の学校における小動物・鳥の飼育を段階的に廃止、もしくは指導を徹底してください。
- (2) 代替えとして、動物愛護センターの訪問や映像教材、地域団体との交流など、命の尊さを学べる新しい教育機会をご検討ください。

▼審議結果

経済文教常任委員会に付託され、賛成なしで不採択となりました。本会議においても賛成なしで不採択となりました。



▲全文は、こちらから
ご覧になれます。



令和8年2月定例会日程(案)



令和8年2月定例会の日程は、2月13日(金)の議会運営委員会で内定し、2月20日(金)の本会議で決定します。

2/9日(月)	10日(火)	11日(水・祝)	12日(木)	13日(金)	14日(土)	15日(日)
	請願・陳情 提出期限(17:00)			10:00 議会運営委員会		
16日(月)	17日(火)	18日(水)	19日(木)	20日(金)	21日(土)	22日(日)
				10:00 本会議 (開会、予算大綱・ 議案説明)	休会	休会
23日(月・祝)	24日(火)	25日(水)	26日(木)	27日(金)	28日(土)	3/1日(日)
休会	休会	10:00本会議 (予算大綱・議案質疑)	10:00 本会議(一般質問)	10:00 本会議(一般質問)	休会	休会
2日(月)	3日(火)	4日(水)	5日(木)	6日(金)	7日(土)	8日(日)
10:00 本会議(一般質問)	10:00 本会議(一般質問)	9:00または10:00 建設常任委員会 13:30 厚生常任委員会	9:00または10:00 経済文教常任委員会 13:30 総務常任委員会	休会	休会	休会
9日(月)	10日(火)	11日(水)	12日(木)	13日(金)	14日(土)	15日(日)
9:00 予算審査特別委員会	休会	9:00 予算審査特別委員会	9:00 予算審査特別委員会	9:00 予算審査特別委員会	休会	休会
16日(月)	17日(火)	18日(水)	19日(木)	20日(金・祝)	21日(土)	22日(日)
9:00 予算審査特別委員会	休会	休会	10:00 本会議 (委員長報告、質疑、 討論、表決、閉会)			

※建設常任委員会及び経済文教常任委員会の開会時間は、付託された議案・請願・陳情の件数が6件以下の場合は午前10時に開会し、7件以上の場合は午前9時に開会となります。

行政視察報告

視察を実施しました。以下のとおり研修内容を報告します。

総務常任委員会

10月14日(火)富山県魚津市

「トイレトレーラー運用について」

魚津市は、令和6年にトイレトレーラーを導入しました。導入までの経緯、災害派遣実績、オペレーションシステム、平時の運用方法、災害ネットワークの参加についての説明を受けました。

委員の所見

いつ起こるか分からない災害の備えとして、魚津市のトイレトレーラーの常設方法、催事への貸出、災害支援等を参考に、佐野市独自の工夫で、最適なトイレトレーラーの運用が期待できると感じました。

10月15日(水)長野県小諸市

「移住定住促進を軸にした地域活性化に向けた連携に関する協定について」

小諸市は、株式会社アールシーコアと移住定住促進を軸とした連携協定を令和5年5月に締結しました。協定に至った経緯と協定内容の説明を受け、小諸市の現在の移住定住の取り組み及び締結による効果や、地域に及ぼす影響・問



題点などを研修しました。

委員の所見

本市においても、あらゆる機会を捉えて移住定住促進による「人口の数」の増加を図ることは重要です。同時に移住してくる「人」そのものを大切にする視点が必要です。地域の起爆剤となるようなキーマンを戦略的に誘致することが重要であると感じました。

厚生常任委員会

10月14日(火)兵庫県相生市

「子育て応援施策11の鍵について」

子育て応援都市宣言をし、子育てしやすい環境を整え、子育て世代をターゲットに人口減少対策や定住促進を進めています。幼・小・中学校の給食費完全無料化等、事業は多岐にわたりますが、例えば、相生市内で結婚生活を始め、子どもが1人の場合、11の鍵支援額は約300万円になります。

委員の所見

「11の鍵」を開始した当初は、持続可能なのか。高齢者福祉サービスが後退するのではないか。等々、市民の反応は様々でしたが、集会等を通じて市民に粘り強く説明した結果、賛成の声が広がりました。また、子ども政策に対する市長の力強い思いから、給食費完全無料化を継続していて、素晴らしい取り組みでした。

10月15日(水)愛知県豊田市

「豊田地域医療センターコミュニティプラザについて」

①地域から信頼され親しまれる、開かれた病院を目指した取り組みの推進や総合診療の充実②先進技術



を活用した地域DX・地域リハビリテーションの推進③在宅医療などの地域を支える人材育成の推進等、幅広い取り組みでした。

委員の所見

地域との関わりを大切にした地域医療のコミュニティ・ホスピタルであり、地元大手企業、地元医科大学、豊田市、地元医師会、そして地域医療センターによる産学官医の協力と連携の下、市民の皆さまへ、信頼され親しまれる様々な安心安全な医療を提供していて、目指すべき地域医療の姿でした。

各常任委員会

市政の課題や先進事例の調査を行うため、他自治体への行政

経済文教常任委員会

10月29日(水)長野県長野市

「教育支援センターSasa LANDについて」

不登校児童生徒の増加に対応するため、旧長野市立七二会小学校笹平分校を改修し、令和6年4月に教育支援センター「Sasa LAND」を開設しました。社会的自立支援、保護者支援、教職員研修を柱に、包括的な不登校支援を行っています。

委員の所見

長野市では、子どもと保護者を中心に、学校、Sasa LAND、民間施設等が連携し、多角的な不登校支援が行われていることが分かりました。校内支援センターづくりや教職員研修、メタバース活用などの取り組みを、本市への提案に活かしていきたいと思います。

10月30日(木)岐阜県飛騨市

「薬草ビレッジ構想推進プロジェクトについて」

飛騨市の薬草事業は、森林資源を生かし、245種の薬草を活用した、市民の健康づくりと地域活性化を目的に官民連携で推進しています。交流拠点や全国薬草フェスの開催、



商品開発(18事業61商品)などにより、「薬草のまち・飛騨市」を発信しています。

委員の所見

地域資源と人とを結び付け、多くの市民が地域に誇りと愛着を持つて関わる全市民的な取り組みの展開に感銘を受けました。数を追うのではなく、価値観に共感する人々との継続的な関係構築を重視する考え方も、本市の中山間地域活性化に非常に参考になりました。

建設常任委員会

10月20日(月)奈良県生駒市

「空き家対策について」

生駒市では、空き家を「地域資源」と捉え、家主と活用者の想いをつなぐ「恋文不動産」や、行政・専門家・NPOが連携する空き家再生プラットホームを構築しています。相談・成約実績も伸び、空き家減少と地域活性化を実現しています。

委員の所見

空き家を人と地域を再生する”媒介”とする発想が革新的であり、心の交流を重視した独自の仕組みは高い効果を上げています。数字面の成果も明確で、地域コミュニティ形成、防災・景観維持にも寄与する持続可能なモデルと感じました。

10月21日(火)兵庫県姫路市

「姫路市ウォーカブル推進計画について」

姫路市では、ウォーカブル推進計画に基づき、歩きやすく滞在しやすい公共空間づくりを展開しています。大手前通りなどの整備や社会実験、官民連携イベントを通じて、回遊性向上と中心市街地のにぎわい創出を一体的に目指しています。



委員の所見

歩行者中心の都市設計を軸に、にぎわい・健康・観光を連動させる戦略性が際立っていました。市民参加型の社会実験や柔軟な道路活用が印象的で、ウォーカブルが都市価値を総合的に高めることを実感し、地方都市の参考となる施策と評価できます。

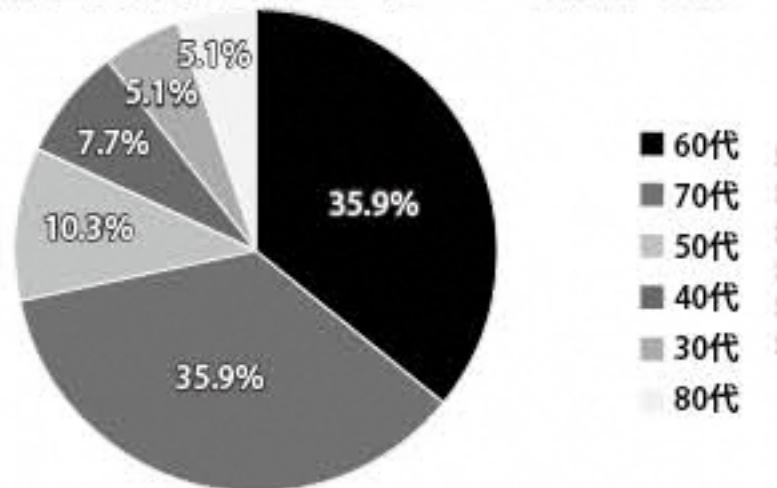
報告会を開催しました。

★ アンケート結果 ★

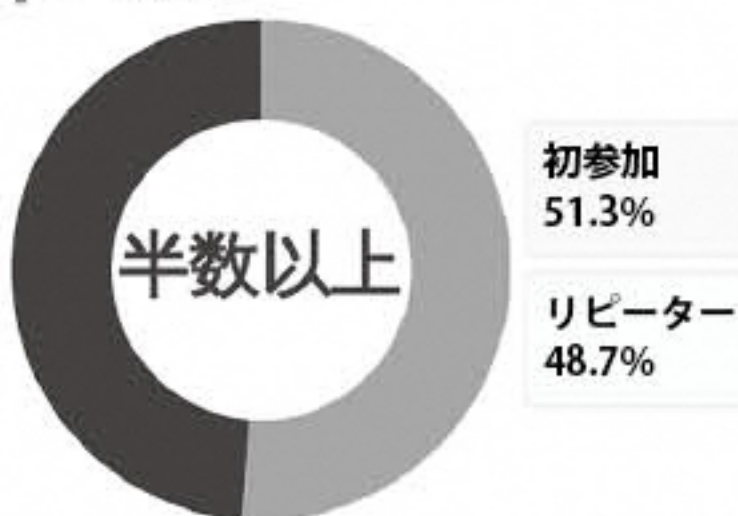
参加者属性と認知経路

年齢構成

60代・70代が全体の約7割を占める（各35.9%で同率トップ）

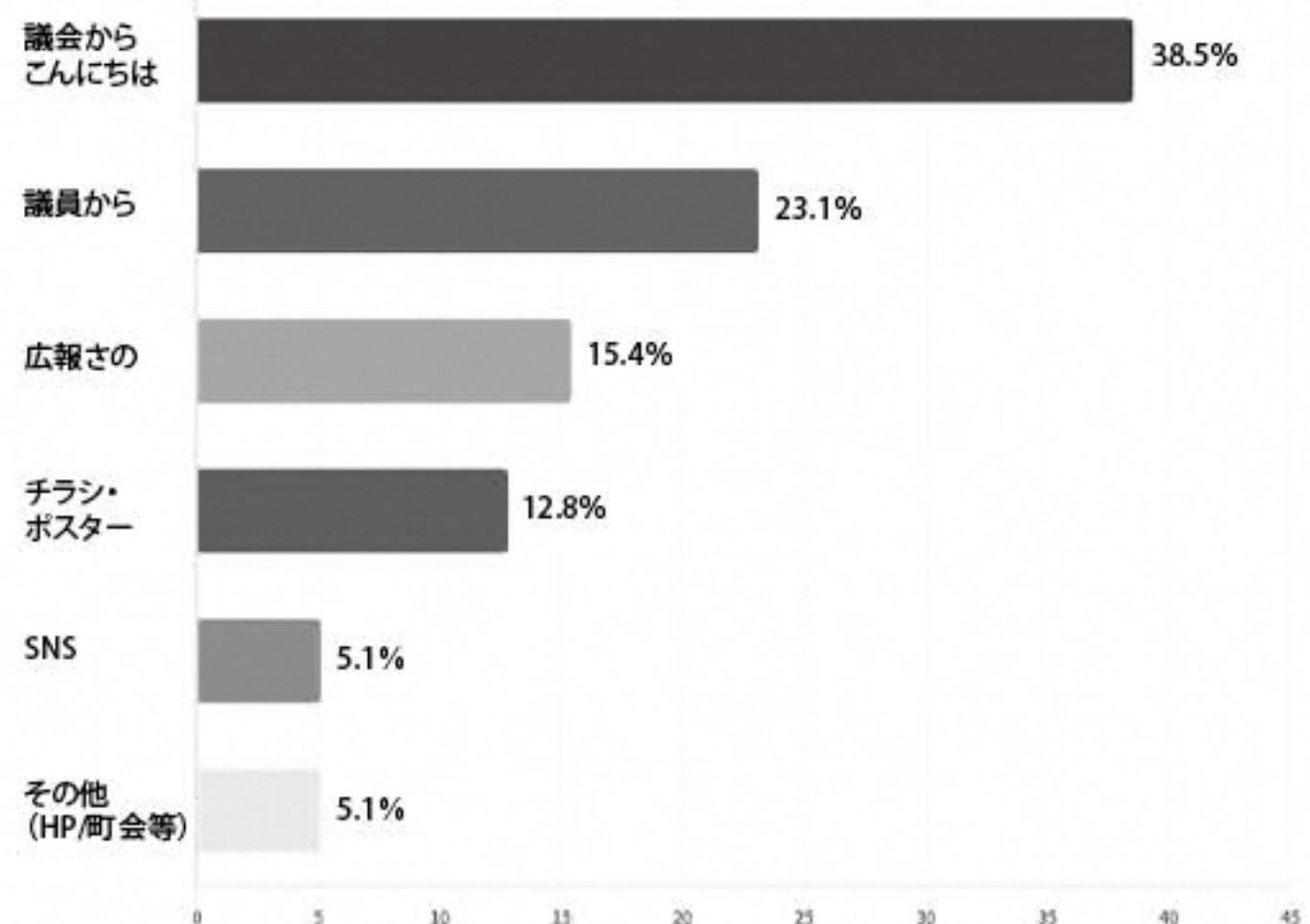


参加経験



認知経路（複数回答）

「議会だより」が最多(38.5%)。次いで「議員から」。紙媒体の影響が強い。



分析ポイント SNSは約5%に留まるが若年層拡大に鍵。現状は紙媒体が情報の主軸。

報告会の評価と次回参加意向

開催時間について

■ ちょうどよかった ■ 長かった ■ 短かった



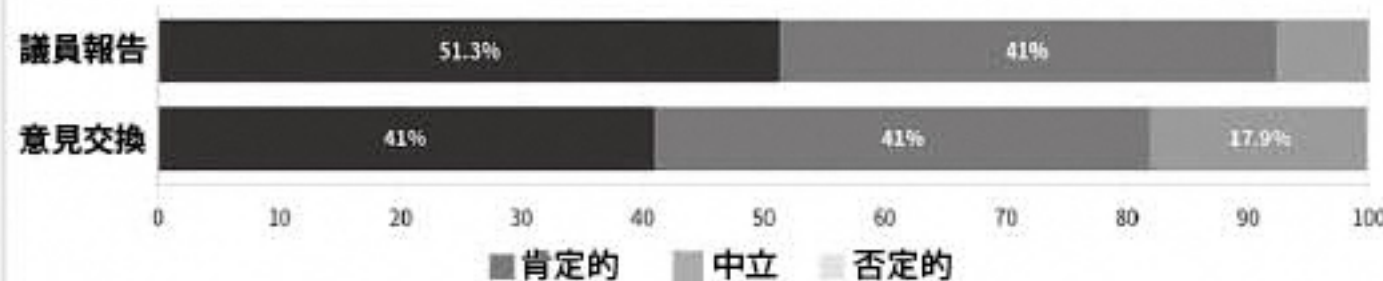
「ちょうどよかった」が約77%を占める

開催希望日・時間帯



土・休日開催への需要が約97%と圧倒的

内容の満足度



議員報告は「わかりやすい」が過半数だが、意見交換は評価が分かれる。

次回も参加したいですか？



肯定的な意見

「初めてですが有意義でした」「真摯に答えていて好感」

改善への期待

「質問時間を長くしてほしい」「若者参加への工夫を」

議会報告会をより知りたい方へ...

- 議会報告会の詳細は、佐野市議会ホームページでご覧いただけます。
- 佐野市議会の YouTube チャンネル『佐野市議会（議会報告会 ch）』で、議会報告会の様子をまとめた動画を公開しています。

市議会
ホームページ



YouTube
(議会報告会 ch)



令和7年11月15日(土)、市役所1階市民活動スペースにおいて、令和7年度佐野市議会報告会を開催しました。当日は、スクリーンを使用した説明や、カラー刷りの配布資料を活用し、前半に議会活動の報告を行いました。後半には、市民の皆様との意見交換の時間を設け、多岐にわたる貴重なご意見をいただきました。ご参加いただきました多くの皆様に、心より御礼申し上げます。当日の内容及び皆様からお寄せいただいたアンケート結果とご意見の一部をご紹介します。

1部

議会報告

- ①令和7年9月定例会について
- ②令和6年度決算について
- ③今後の指定管理者制度の在り方についての提言に対する取組内容及び進捗状況について



2部

意見交換

- テーマ
- ①小中一貫校について
 - ②人口減少・少子化対策について
 - ③本市の防災について
- その他
- ④意見聴取について



議会報告会や議会に対してのご意見・ご感想

報告会について

- 意見聴取を長い時間取ったほうが宜しいかと思えます。
- お年寄りや上の世代がたくさんいる中で、とてもママ世代が意見を言える雰囲気ではありませんでした。ママ世代が気軽に話せる場があれば嬉しいです。
- 議会報告会は年に何回か開催されることを希望します。市民（若い方）を対象とした意見交換会の開催をしてほしいです。

進捗公開について

- 報告会で出た意見に対して進捗報告をお願いしたいです。できれば、若者も見やすいSNSで。

子育て環境について

- 佐野市の若者減少を止める1つとして子育て環境の進化（暑い夏でも遊べる室内遊び場を作る、こどもの国のアップデートなど）も必要不可欠だと思っています。この声が届いて少しでも進化があることを願っています。

地域・安全について

- 山間部に近い地域の葛生に住んでいるので、ハザードマップで熊の出没情報もあると聞いて少し安心しました。





議場茶会の様子

12月5日の市議会定例会開会前に、議場で開催された茶会の様子をご覧ください。



新春号

議会から
こんにちは

2026.1.1



さの市議会だより

■特集
年頭の決意
—お読みください、今年のご報告—

新春号の案内

市議会だより新春号は、佐野市議会ホームページでの配信のみです。

全議員の今年の抱負が掲載してありますので、ぜひご覧ください。

佐野市議会だより

検索



新春号URL

https://www.city.sano.lg.jp/sp/shigikai/1_1/17_6/26058.html

12月定例会では18名の議員が一般質問に登壇。各常任委員会の付託議案・陳情案件等、活発な質疑や慎重審査が行われました。また議員全員協議会では、本市の最上位計画「第2次佐野市総合計画後期基本計画(案)」など、重要な計画が示され、議員からの積極的な質疑、意見等も述べられました。計画は、パブリックコメント(意見公募)を経て策定されますが、引き続き市民の皆様の声と共に歩む議会を目指してまいります。

(小倉記)

編集後記

【編集委員会】

委員長 早川 貴光
委員 澤田 裕之
委員 小森 隆一
委員 小倉 健一
委員 鶴見 義明